開発教育 ニュースレター No 8 1987.9

〒 東京都新宿区西早稲田2－3－18－61
開発教育協議会事務局 Tel 03-207-3085

第５回研究集会，神戸で開催

５回めを数える開発教育全国研究集会は，8 月22,23 の両日，神戸市中央区の神戸YMCA国際文化センターで兵庫県，神戸市，同県教委，市教委の後援を得て，130 名の参加者を集めて開かれた．参加者の約 3分の1 は学校の教師，また半ば近くが女性であった．集会は研究・実践事例の発表とワークショップのふたつでもって構成された．

研究・実践事例の発表者は，岩手県川井村小国中学の畠山廣子さん，大阪市大手前高校の川上郁雄さん，東京都町田市真光寺中学の臼井香里さん，神奈川県茅ケ崎市栄光学園の崎村克己さん，大阪市大阪電気通信大学高校の小谷勝彦さん，神戸市東灘高校大津和子さんの6 人であり，2 グループに分かれてじっくりと聞いた．

ワークショップは，これまでのシンポジウムなどに代えて今回初めて試みられたもので主題に関する参加者の経験や情報を交換しあい，理解を深め，行動計画などを参加者全員で作ろうとしたものである．当初，3 分科会のワークショップを予定していたが，第３分科会の参加者が50人近くになったので，途中から第４分科会を編成した．分科会別の主題は次の通り．

第１：地域における開発教育をどのように進めるか － 市民団体として

第２：地球の環境問題をテーマに教育活動をどう実践するか － 開発問題とのかかわり

第３：開発教育資料の利用，教材の開発をどのように進めるか － 人口問題を中心に

第４：開発教育資料の利用，教材の開発をどのように進めるか － スライド教材を中心に

最後の全体協議では各分科会からの報告を聞いたあと，開発教育にかかわる学校教師とNGO メンバーとのネットワーキング，開発問題や開発教育に関する資料や情報，さらには経験交流の仕組みの確立，あるいは隣接領域を含めたカリキュラム・教材開発の必要性，などが論議され，その推進を図ろうということになった．

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

国連の開発教育関係機関名簿

国連では1979年以来，2 年ごとに United Nations Development Education Directory を刊行しているが，その1987年版がことしの初めにUN-NGLS/Genevaから刊行された．国連の諸機関のどこが開発教育のどういう部分にかかわっているか，どういうサービスを一般に提供しているか，などがわかる便利な名簿である．東京都港区南青山の新青山ビル西館22階にある国連広報センターで利用できる．

コカコーラなどボイコット呼びかけ

フィリピンの砂糖労働者

ニューヨークのユニセフNGO 委員会が発行しているAction for Children の1987年第２号によると，フィリピンのネグロスを中心とする全国砂糖労働者連盟はコカコーラとペプシのボイコット運動を始めたという．

コカコーラとペプシは長年にわたってフィリピンの砂糖の大きな得意先だったが，コーンシロップを使った安い人工甘味料の発達に

ともなって，購入量を極端に減らしだしていることに対する抗議である．砂糖価格の定価引き下げは五十万甘蔗労働者の職を奪った．連盟はコークなどの砂糖購入裁量権を否定しているわけではないが，長年にわたって砂糖を提供し続けてきた労働者の生活が破壊されたことについての責任をとるべきであると主張している．連盟は 4月にオランダで１週間のボイコットキャンペーンをしたが，ほかに22か国が同じようなボイコットキャンペーンをする用意があるとしている．

ネグロス島はフィリピンの砂糖の56% を産出するが，世界的に展開されたネグロス砂糖労働者を救えというキャンペーンにも拘らず子どもたちの栄養状態は必ずしも好転しているとはいえず，救援物資も底をつきかけていると報じられている．

隣人をよく知ろう

翻訳出版助成プログラム

トヨタ財団では「隣人をよく知ろう」プログラムで東南アジアを中心とするアジア諸国の文学作品などの翻訳出版に助成する事業を続けているが，さる3 月に出された刊行物紹介その７で，15の新しい刊行物を紹介している．国別にこれらの作品の表題だけをあげてみると：

インドネシア「嵐の中のマニャール」「ペチャ引き家族の物語」「我が家の来しかた」
シンガポール「シンガポールの近代化と宗教」
タイ「メイド・イン・ジャパン」「メコンに死す」「裁き」「タイ村落経済史」
ネパール「20世紀：ある小路にて」「明け染めぬ夜」
ビルマ「会うは別れのはじめ」「漁師」
フィリピン「運命の歳月」「東南アジア音楽の思想」
マレーシア「ラーマン回想録」

となっている．これらの小説や社会科学関係図書の中には，開発教育の教材資料が含まれているはずである．機会があれば一読を勧めたい．なお，トヨタ財団やこの隣人を知ろうプログラムについての問合わせは，東京都新宿区西新宿2-1-1 三井ビルの同財団あて．

アジア・アフリカ友だち文庫　始めました

開発教育協議会の会員であるアジア協会・アジア友の会東京事務所では，アジア・アフリカ友だち文庫の通信販売を始めた．第１巻「ギタはインドの女の子」，第２巻「ムラホー！こんにちは，アフリカの友だちを訪ねて」の２冊．前者はインド東部の普通の農家の小学４年生の日常生活が，後者はルアンダを訪問した外国のお客さんの話．いずれも幼稚園から小学校低学年向けで約35ページ，定価は送料別で各1,500 円．

同協会はインド紅茶（ダージリン・ティのキングとクイーン）の割引通信販売も始め，またテレホンカードも販売しているが，これらは同会の「アジア・アフリカに井戸を贈る運動」の一環．申込みあるいは問合わせは東京都港区赤坂2-17-54 パレロワイヤル赤坂1-717 気付，担当の赤井充也さんまで（電話03-505-5145）

プラティープさんのたたかい

曹洞宗ボランティア会の出版物

バンコクのスラムに生まれ，スラムの子どもたちのために学校を開いたプラティープさんのことは，いろいろなところで取りあげられているが，開発教育協議会の会員団体である曹洞宗ボランティア会では，そのプラティープさんの出生からマグサイサイ賞受賞にいたるまでの半生を描く「アジアにかかる虹　スラムのともしび・プラティープ先生」を自主刊行した．定価1,700 円．市販しているが，問合わせは東京都豊島区巣鴨1-28-5ヒカリビル201 の同会まで．

関西国際協力協議会設立

関西地区で国際協力にかかわる団体は20をこえるとみられ，かねてから関西 NGO連絡会を開いてきたが，さる 6月16日に関西国際協力協議会を結成した．

小規模な民間団体の活力を総合化し，そのことによって個々の団体の力の強化を図ろうというもので，当面は情報や経験の交流を緊密にしていくことから始めるが，ゆくゆくはNGO の担い手となる青年の育成や研修まで手がけたいとしている．加盟団体はいくつかの開発教育協議会会員団体を含む11団体．事務局は大阪市北区堂島1-5-17堂島グランドビルYMCA国際社会奉仕センター．

大阪にIハウス

大阪市は市政百年記念事業のひとつとして天王寺区上本町に大阪国際交流センターを建設し， 9月22日にオープンの運びとなった．International House Osaka,通称Iハウスとされる．

運営は財団法人大阪国際交流センターの手にゆだねられるが，国際関係の情報提供，交流団体のネットワーク化の推進，交流の促進，会議などへの施設提供，交流や協力についての情報提供など，多彩な事業が計画されている．

アメリカの開発教育全国集会

Development Forum ことしの1,2 月合併号によると，昨年初めて全米の開発教育研究集会が開かれたということである．

アナポリスで開かれたこの集会は，アメリカ合衆国国際開発庁（USAID)がグローバル・パースペクティブ・イン・エデュケーションとグローバル・トゥモロウ・コアリッションおよびインターアクションの協力を得て，グローバル教育や環境問題，人口問題，開発問題にかかわっている人々に呼びかけ，開発問題を教育で取りあげることに関心をもつ実践家を集めて開催した．

アメリカでは，1984年から，USAID の資金援助を得ている約30の開発教育プロジェクトの責任者が，年に一度集って情報を交換するようになっているが，今回は先に記した通り政府と民間団体が初めて一緒になって呼びかけ，全国から170 名もの参加者を集めて開かれたものである．この会議によってアメリカの開発教育はやっと始まることになる，とUSAID の担当者は感想をもらしたそうである．

集会では開発と人口や環境問題などとの関連や，学校教育での取りあげかた，関係団体の連携，マスコミの利用などが討議された．また開発教育と世論の問題も取りあげられ，アメリカ市民の開発問題に対する態度についての世論調査結果（その一部は本ニュースレター第７号で紹介している）も報告され，討議された．さらに，アメリカ市民と南側の人々との市民同士の連携を作りあげていく方策が検討された．

職業高校の開発教育

フランスの実践例

学生に開発問題への目を開かせるといっても，どうすればよいのかわからない，というのは洋の東西を問わず同じ教師の悩みである飢餓救援キャンペーンで学校を動員すると，確かに大きな成果は得られるが，それはそれで終わってしまう．南側の人々と連帯の気持を育てるにはどうすればよいかというのは，学校教師にだされている大きな課題である．それについて，職業技術高校は少し違う事ができるという報告がある．

ふつう，技術高校などでの製作実習は，終われば作品はごみ箱行きである．実際に使え同時に学生の南北問題に対する目を開かせることになる実習作業を技術高校で取りあげようという教師がでてきた．

もちろん，たとえば缶切りのようなものを作って第３世界の国に送ると，その国の製造能力をこわしてしまうことになる．そこで技術高校などで製作実習するものは，たとえばポンプ，油絞り機などの原型に限定することにした．この第３世界プロジェクトの成果についての調査があるが，それからひとつ，ふたつ，例をみてみる．

サン・フルールのある職業高校では１年をかけてセネガルで使う風車ポンプを製作したポンプを設置するセネガルの村はユネスコクラブの斡旋で決まった．セネガルの技術高校との提携話もでてきた．その高校の教師と学生の代表はセネガルを訪問し，その生活に触れてきた．

この種の機器原型製作には学校側の独断に陥らぬように，地域で国際協力にかかわる民間団体や相手国の団体と連携することが奨励されている．民間団体の提案によって格子細工機を製作した学校があるし，パームオイル圧搾機の改造に２年がかりで取り組んだ学校もある．職業技術高校らしい開発協力であり開発教育である（Development Forum, Jan-Feb 1987から）．

横浜にＫＩＳ

Kanagawa Information Station，略称KISが神奈川県国際交流協会の手で横浜市中区にできた．環境，人権，南北問題，福祉，教育などさまざまな領域の情報を集め，提供する役割を担うもので，各種印刷物や図書の展示のほか，情報のデータベース化，相談さらには交流や企画の場にもしたいとしている．

誰でもが利用でき，月曜日，祝日，年末年始以外は開放していて，朝10時から夜 8時まで（土・日は 5時まで）利用できることになっている．問合わせは横浜市中区山下町２産業貿易センタービル９階　神奈川県国際交流協会国際交流コーナー「KIS」．

資料を頂きました ありがとうございます

開発教育協議会事務局には加盟団体をはじめ，多くの方々から貴重な資料が届けられている．この２か月の間に，ちらしなどの類は別にして，提供のあった資料は次の通りである．（刊行物表題の五十音順，カッコ内は発行者名）

ACT News No.2(ACT ニュース編集局），アジア・コミュニティトラスト年次報告1986（アジア・コミュニティトラスト運営委員会事務局），映画・ビデオ・作品リスト1986（東京ビデオ株式会社），京都高校国際理解教育研究会報第 7号（京都国際理解教育研究会），国際協力 7月号（国際協力事業団），こんな学校　日本にあってもいいなァー（プレス・オールタナティブ），JAFS News & Report No 24(アジア協会・アジア友の会），トンボゲーム（日本ユニセフ協会），乳児用粉ミルク問題を考える会ニュースレターNo 18(乳児用粉ミルクを考える会），熱帯雨林ノート第 8号（アジアの熱帯林を考える会），ネパール教育協力会だより第55号（ネパール教育協力会），フロンティア 6月号（国際救援友好協会）ボルネオ熱帯雨林　―　森林伐採とその影響（熱帯雨林行動ネットワーク），Unicef 緑の風 6月号（ユニセフ関西市民の集い）

協議会理事会

開発教育協議会の第30回理事会は 8月 5日に開かれ，全国研究集会のほか，顧問に関する内規の件，開発教育情報センター設立の件などについて協議した．顧問については次回理事会で内規として成文化がはかられるが，情報センター設置については，長期的展望をもって関係機関などと折衝しながら，案を練り直すこととなった．次回理事会は10月20日を予定．